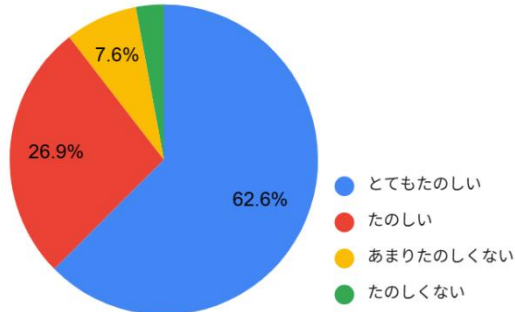


令和7年度 中塩田小学校 学校自己評価 前期報告（児童・保護者）

1. 学校に通うのが楽しい

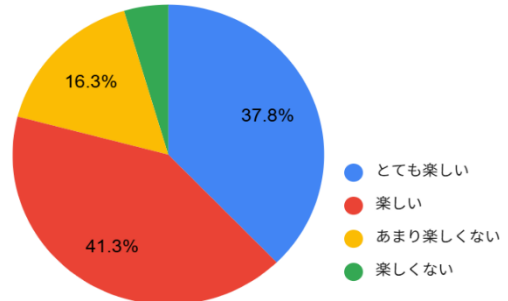
【低学年】

がっこうへ いくのは、たのしいですか。



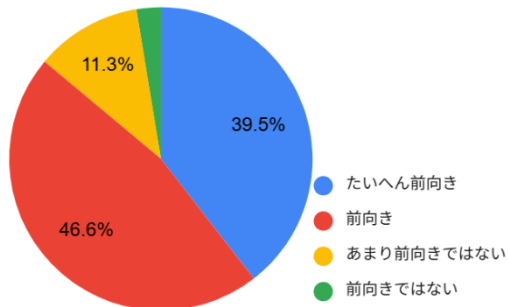
【高学年】

学校へ行くのは、楽しいですか。



【保護者】

お子さんは、前向きに学校へ行っていますか。



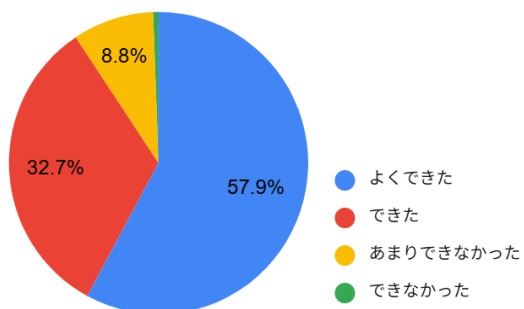
【考察】

「①とても楽しい」と「②楽しい」の割合が低学年児童 89%、高学年児童 79%。保護者 86%と肯定的な評価の割合が高くなっている。落ち着いた環境で生活し、学習できていることが大きな要因と思われる。引き続き、子どもたちにとって居心地の良い学校づくりを進めていきたい。

2. 家族や地域の方に気持ちよいあいさつをしている

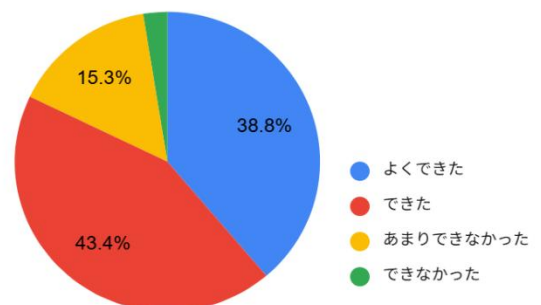
【低学年】

じぶんからすすんで あいさつや、きもちのよいあかるいへんじができましたか。



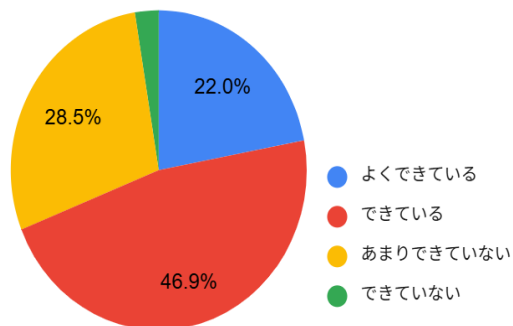
【高学年】

自分から進んであいさつや、気持ちのよい明るい返事ができましたか。



【保護者】

お子さんは、学校、家庭、地域で自分からあいさつをしたり、気持ちのよい返事をしたりしていますか。



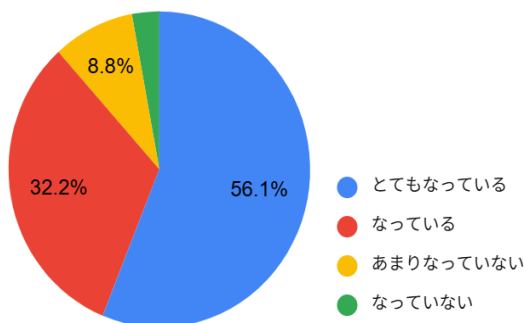
【考察】

児童はあいさつができている割合が多い（低学年 89%、高学年 81%）一方、保護者の皆様からは「③あまりできていない」の割合が児童と比べて高かった。学校内に限らず家庭や地域においても、あいさつができたことを認め、「自分からあいさつ」の意識を育てていきたい。

3. 人権教育

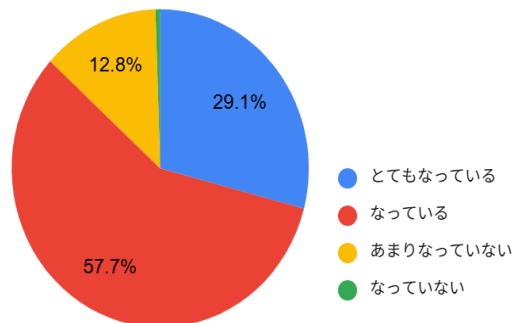
【低学年】

ひとをたいせつにしたじゅぎょうや がっこうせいかつ になっていると おもいますか。



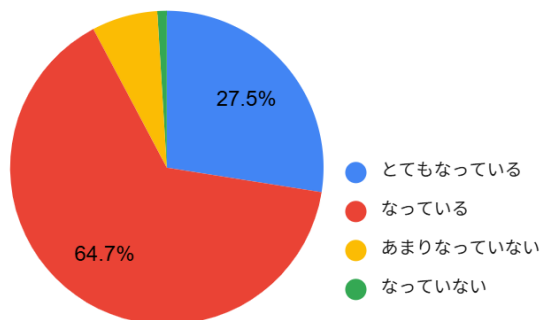
【高学年】

人権に配慮した（人を大切にした）授業や学校生活が行われていると思いますか。



【保護者】

学校は、人権に配慮した授業や学校生活を送る場となっていますか。



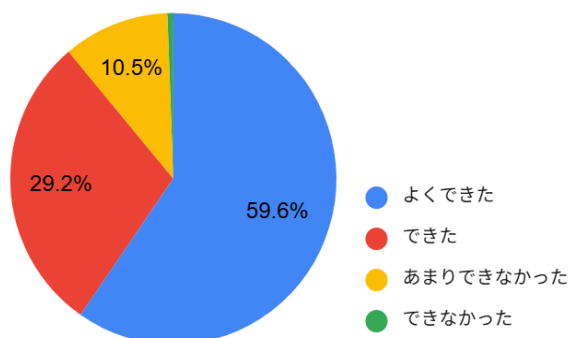
【考察】

児童、保護者ともに①と②を合わせると 85% 以上の高い割合となっている。（昨年度同時期の調査より 5%以上高い値）引き続き、一人ひとりの存在を大切にした授業づくり、学校生活が送れるよう心がけていきたい。

4. 家庭学習に自分から進んで取り組む

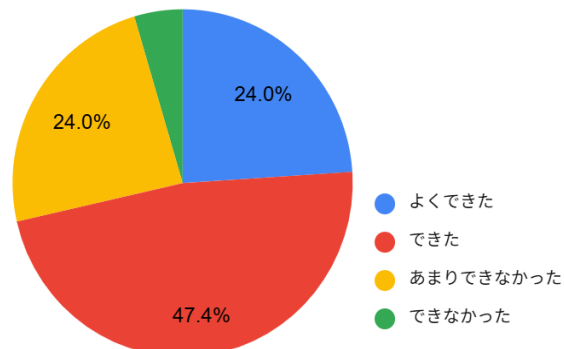
【低学年】

しゅくだい（じしゅがくしゅう）を、ていねいにやることができましたか。



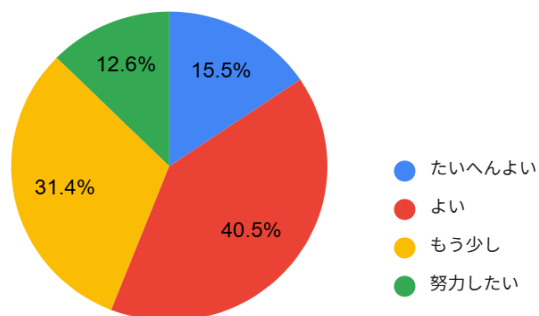
【高学年】

宿題や自主学習を最後まで、ていねいにやることができましたか。



【保護者】

『家庭学習のてびき』をもとに、進んで家庭学習に取り組んでいますか。



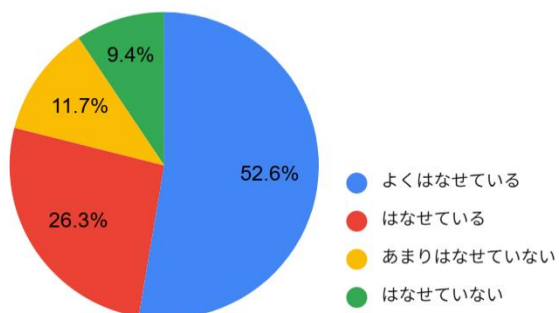
【考察】

高学年になるに従い、③の割合が増えてきている。保護者の方の③、④の割合も多いことから、意欲的な取り組みや、学習を後回しにするなど計画的な取り組みの点で課題が見られる。児童の様子を見ながら、自主学習への取り組み、内容、量について考えていきたい。

5. 困ったときに相談できる先生や友達、家族がいる

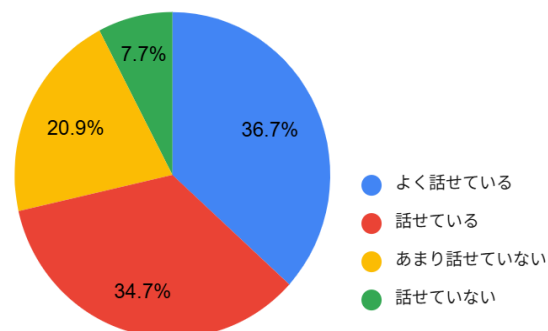
【低学年】

いやなことがあったとき、せんせいやともだち、おうちのひとにはなせていますか。



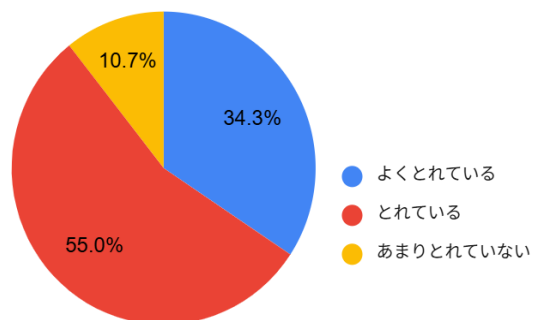
【高学年】

いやなことがあったとき、先生や友だち、おうちの人に話せていますか。



【保護者】

家庭では、お子さんと学校のことや友だちのことを話す時間がとれていますか。



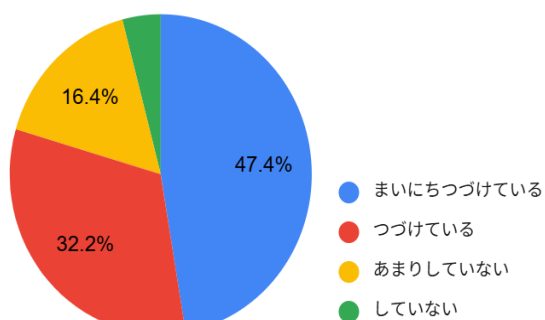
【考察】

児童全体としては、①②の割合が71～78%だが、高学年において③や④の評価が増える傾向が見られる。ご家庭でお子さんと話す時間を確保してくださっている家庭の割合が非常に高く、ありがたい。学校も、さらに子どもたちと真摯に向き合い、相談しにくさを感じている児童が少なくなるように努めていきたい。

6. 粘り強く継続して取り組む姿勢（責任感）

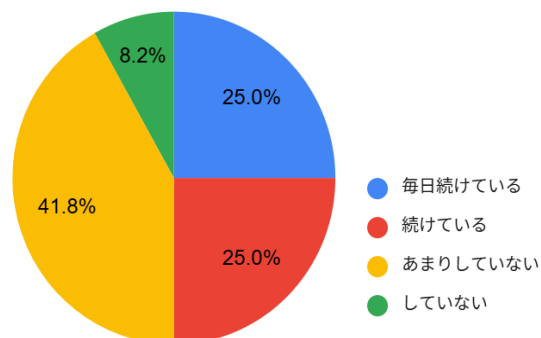
【低学年】

マラソンやなわとび、やすみじかんのあそびなどからだをうごかすことを つづけましたか。

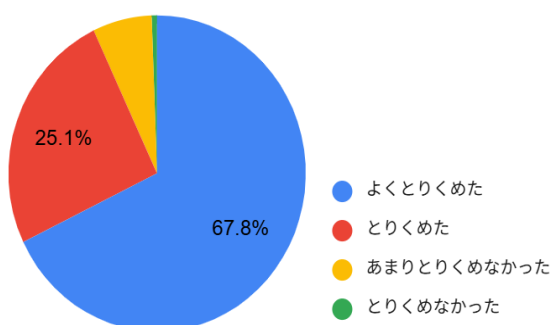


【高学年】

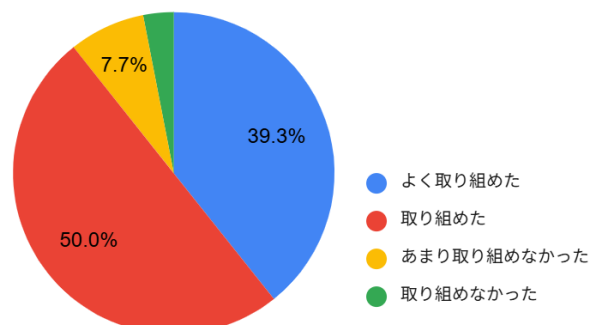
マラソンや縄とび、休み時間の遊びなど、継続して体を動かすことを心がけましたか。



そうじやうばんなどじぶんのしごとに、こつこつとりくめましたか。



清掃・当番活動・係活動などに、責任を持って、こつこつ取り組みましたか。



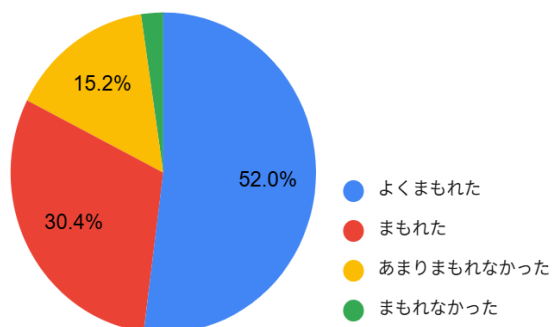
【考察】

外で体を動かす事が好きな児童とそうでない児童が高学年で特に2極化している。体育の授業やマラソン月間等の活動を通して、運動への意欲をもたせていきたい。清掃については、「気づく」ことに重点をおき、質を高めていきたい。

7. メディアコントロール

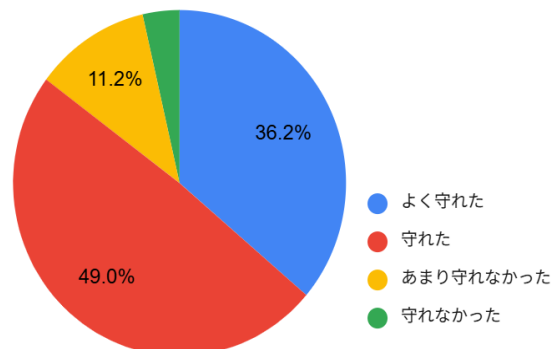
【低学年】

テレビやゲームなど、おうちのひととの やくそくを
まもれましたか。



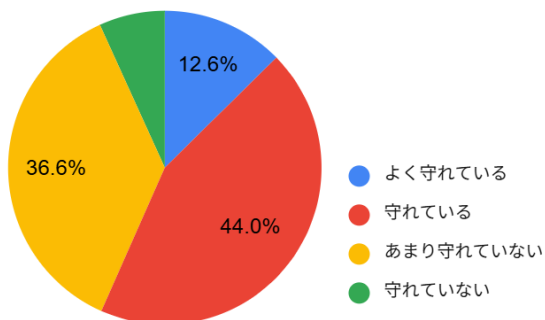
【高学年】

テレビやゲームなど、お家の人との約束を守れましたか。



【保護者】

ゲームやテレビ・パソコン・スマートフォン等の使い方のルール
は守られていますか。



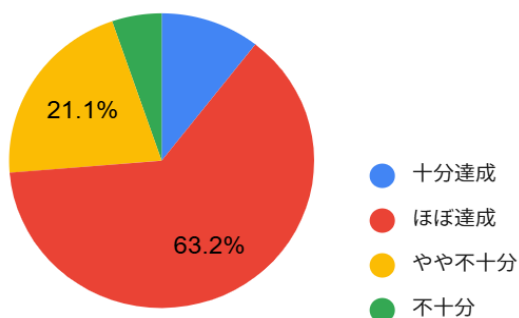
【考察】

昨年度同様、児童と保護者の間で違いが見られる。メディアの与える影響について、日頃の授業や外部講師を招いての講演を通して、児童の自覚を促していきたい。

8. 地域との連携

【職員】

学校支援ボランティアとの連携
地域ボランティアとの連携を通して、読書・学習・体験活動・交通安全に
対する意識を高めたか。



【考察】

学校生活の様々な場面で、地域ボランティアの方々にご協力いただいている。今後は、さらに、子どもたちとボランティアの方の交流する場面を増やし、児童が地域の方から学び、地域の良さを知り、地域を愛する心を育てる学社融合を進めていきたい。